



「神の」計画」

フリーピ二：10～18
牧師 安藤 脩

横浜岡村教会に赴任して25年。それは又、ラング宣教師によって結ばれた三教会（横浜菊名教会、清水ヶ丘教会、当教会）の交わりに加えられ、多くの兄弟姉妹と巡りあつた25年でもあり、真に感謝でありました。この恵みは、すべて神のご計画の中にあつたのだと思います。

私たち人間を救うために、神の御座を捨てて、人間となつてこの世にお出でくださったイエス様は、十字架の死によつて、私たちを贖つて下さいました。「天上のもの、地上のもの、地下のものがすべて、イエスの御名にひざまずき、すべての舌が、『イエス・キリストは主である』と公に宣べて、父である神をたたえるのです。」（：10～11）とあるように、このお方を伝える伝道者になつたからこそ、皆さんにお会いできました。

私に伝道者として献身する思いが与えられたのは、48年前、学校に勤務して3

2018年春号

日本キリスト教団
横浜岡村教会

〒235-0021

横浜市磯子区
岡村 4-25-39

TEL.045(751)3917

牧師

安藤 脩

年目頃の時でした。しかし、なかなか決心が付きませんでした。この思いは自分の願望なのだと考えていました。そして、伝道者になるには、特別な霊的体験が必要なのだと思うていたからです。そして更に2年が過ぎた時、母が急死しました。

出会いや別れが、人に大転換をもたらすことが多いです。私は熱心な信徒の家に生まれ、大学に入学して初めて聖書を読み、イエス様に出会いました。これが一つ目の大転換です。そして、母との死別が2回目の大転換になりました。

母の亡き骸を見ながら、「母は死んでどこへ行くのだろう。真面目に一生懸命、7人の子を育てた母だけど、やはり、神の前に出たら、罪ある者として裁かれるのだろう。でも、母が悪いのではありません。あなたを先に知りながら、母に本気で、イエス様による救いを伝えなかつた私が悪いのです。母を憐れんでください。」と祈っていると、私の口からは、キ

リスト教の伝道者になる！」と言っていました。その年度で学校を辞め献身する決心が付いたので。

勤めていた学校は鹿児島でした。ちゃんとした信仰生活をしていませんでした。それで、洗礼を受けた宮崎の教会に行き、この献身の思いを牧師に語りました。そして、大学時代2年間、寝泊りしていた教会の教育館に泊めていただきました。何心なく、本棚から1冊の本を引き出し読み始めました。すると、「あなたがたのうちに働きかけて、その願いを起こさせ、かつ実現に至らせるのは神であつて、それは神のよしとされるところだからである。」（：13 口語訳）という聖句が飛び込んできました。そして私は、献身への願いを起こさせてくださったのは神様だった。それならきつと実現へも導いてくださるのだと確信でき、喜びに溢れました。

そして、今、皆さんとの出会いがあります。神がご計画し、導いてくださったのです。今は「よこしまな曲がった時代」です。でも、神のご計画の中を「何事も、不平や理屈を言わずに行なう」なら、命の言葉を保つことができます。又お会いする時まで、この道を歩き通しましょう。

証し

神様がいつもそばにいてくれます

秋保 彩乃

私は現在、12歳、小学校6年生です。誕生の日、真夜中に雷と大雨で、産婦人科に行くのも一苦労だったと聞いています。だからでしょうか。聖書では、ノアの箱舟の話が一番好きです。

小学校に上がるまでは、東京都練馬区で過ごし、小学校入学と同時に横浜に引っ越してきました。現在は、祖母と母との三人と白いウサギ1羽と暮らしています。

母が横浜岡村教会に来るまでは、宗教的なことや神様について、あまり深く考えたことはありませんでした。初めて、「神様」という言葉を聞いたのは、保育園の時だったと思いますが、その時は、なんでもできるすごい「人」なんだと理解しました。

母が突然、岡村教会に通いだしたときは、「どうしちゃったのだろう。」と、正直不安になりました。そして、しつこく「一緒に教会に行こう!」というので、一度、仕方なく礼拝に出席しましたが、何がなんだかよくわからず、もう教会には行きたくないと思いました。

しばらくは、母一人で礼拝に出席していました。が、昨年の7月、今後は「教会の手伝いをして!」と母が言うので、仕方なく再び教会に行くことになりました。その時、安藤先生や教会員の方々が優しく接してくださったので、「ここはいいところだなあ。」と思いました。

それでも、学校のクラスメイトで教会に通っている人はいないみたいだし、ゴスペルクラブでも教会の話なんて聞いたこともないし、みんながやっていない、行っていないところに行くのは「変な人」と思われそうで嫌でした。

その後、マリア会の土曜交わり会で、私が所属しているゴスペルクラブが招かれ、コンサートを行うことになり、私はゴスペルメンバーを弘明寺から岡村教会まで案内をする係になってしまいました。ゴスペルメンバーにどう思われるだろう、という不安な気持ちが強かったですが、「いいな、教会に行けて。」と喜んでくれる人もいて驚きました。

交わり会当日には、メンバーの自己紹介があったのですが、意外にも幼いころに教会に通っていた方が多く、「教会に行くことは、変なことや特殊なことではないのだ。」ということがわかり、むしろ「教会に行くことは、誇らしいこと。」と思えました。

安藤先生が会の中でお話された、「人は、『死んだら終わり』ではないのです。」という言葉が強く耳に残りました。イエスを信じた人は、たとえ死んでも天国で暮らすことができます。たとえ死んだとしても、母と再び会うことができる。これが受洗を決めた大きな理由だと思います。あとは正直よくわかりません。おぼあちゃんにもこの恵みがあるように、と祈っています。

今は、いつでも神様がそばにいてくれることに感謝しています。できないと思っていた宿題ができた時、探し物が見つかった時、学校や塾の行き帰りの時、お友達と遊んでいる時、いつも神様が私のそばにいてくださることがわかります。安心していきます。喜んでいきます。

教会員の方々、お祈りくださり、いつも優しく接してくださってありがとうございます。これからもよろしくお祈りします。



讚美と感謝の時

菅野 美穂

今年のイブ礼拝は、午前中にクリスマス礼拝、午後からイブ礼拝が持たれました。例年のようにJCのページェントはありませんでしたが、安藤牧師と迎える最後のイブ礼拝となりました。牧師の讚美が聞けなくなる事の寂しさや、様々な思いがあるなか、礼拝に出席出来た事に感謝しました。待降節からクリスマスへと指折り数えながら毎年過ごし、やっとクリスマスを迎え、心から賛美する事が出来ます。クリスマスを待ち望む、それは、御子を私達へ送ってくださった神様への感謝の思いを合わせて持ちながら、待ち続ける思いです。

「朝日は昇りて 世を照らせり
暗きに住む人 来たり仰げ」
と讚美歌にあるように、私達の内
に決して沈むことのない、希望の
朝日となり、今も臨在している主
に出会えたこと、この神様が下さ
った大きなプレゼントに感謝して
ます。

ハッピーバースデーガス!

JCクリスマス報告

安藤 善枝

12月24日



ケーキ!!

12月24日(日)
JCのこどもク
リスマス会を開
き、楽しいひと時
を過ごしました。
引き続きの
イブ礼拝に子供
達は聖歌隊とし
て奉仕しました。



こども聖歌隊

クリスマス祝会

鈴木 恵

12月17日(日)礼拝後、クリスマス祝
会が開かれました。手作りの美味しいお
食事を頂いた後、賛美・クイズ・水の色
が変わるサイエンスショー・ギター演奏。
時間が足りないくらいでした。

毎年ギター演奏をして下さる方がいら
っしゃいます。今年は友人と一緒に参加
され、オリジナル曲を披
露して下さいました。感
謝です。

午後のひと時、イエス
様の御降誕を皆さんと
お祝いし、楽しい時とな
りました。



二〇一八 信徒研修会

坂本 浩

2月11日(日)13時20分より参加者16名で、教育部主催の信徒研修会を行いました。今回の研修テーマは「『主の祈り』を詳しく学ぶ」でした。開会の祈りと讃美で始まり、安藤脩牧師による講義が1時間ほど行われました。イエス様がこう祈りなさいと、私たちに与えて下さった主の祈りのその意味を、深く丁寧かつ簡潔に纏められた内容で、興味深く聞くことができ、とても集中できた講義でした。その後、3グループに分かれてのグループディスカッション。最後に再び集合し、お茶とお菓子を食べながら、各グループの感想や意見などを発表し、和やかな雰囲気の中で会を終えました。研修というとはなく堅苦しく、学び中心となってしまうのですが、今回は4月に新しい牧師をお迎えするにあたり、より教会員相互の絆が確認できた、大変有意義な交わりの時だったのではと感じました。



以下は、研修終了直後に書いていただいた感想の一部をご紹介します。

信徒研修会に参加して

☆今回の研修会に参加して「祈り」について考えを改めさせられる内容でした。今まで主の祈りは、神様から与えられた大切な祈りと考え祈っていました。自分の中に、形式的な暗記した祈りという思いが少しありました。安藤先生の話をきいて、自分の祈りとして祈ることが重要だと言うことを知ることができました。そして祈りは、願い、感謝だけでなく、神様の声を聴く「静聴」だということは今後大切にして行きたいと思えました。(A・I)

☆私は、体調が悪い朝、床の中で主の祈りを何回も祈る時があります。だんだんねむくなってしまふこともありすが、気持ちが悪く落ち着き楽になります。続けて行くつもりです。(M・S)

☆主の祈りは学生の頃から祈ってきましたが、ひとつひとつの意味を深く考えたこと、学んだことはあまりなかったもので、今日の講義は大変勉強になりました。これから祈る時は、神様の思いを心に入れて祈って行きたいと思いました。(S・S)

☆祈る事の大切さ、祈りを基盤とした信仰の大切さを感じました。(M・S)

☆最初に暗唱できるよう、覚えた祈りのことばです。毎晩寝る前に唱えて、暗唱しました。基本の「き」となる祈りですから、これからも内なる意味を考え、深めながら大切に行きたいと思えます。何事を祈るにしても、すぐに祈る習慣を忘れずにいたいと思いません。(K・I)

☆受洗前「我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく」につまずき、なかなか受洗出来なかつた事を思い出し、今ここにある事、感謝です。(T・S)

☆人が生きて行くには呼吸をしないと行けない。魂が生きて行くには、祈らないといけないと思った。朝時間を決めて祈っています。今こそ岡村教会の祈禱会が祝されますように。(Y・A)





私と讃美歌

私の好きな讃美歌

安藤 脩

私は歌を歌いたい衝動に駆られて大学に入学しました。そしてそこで初めてキリスト教に接し、讃美歌に出会いました。それ以来、讃美歌は私の愛唱歌となりました。一杯ありません。

最初に惹かれたのは、ヘブルメロデーの讃美歌85番「主のまことは 荒磯の岩」です。今まで聞いたことのない特殊なメロデーに心惹かれ、何回か独唱したことがあります。

間宮 富子

慈しみ深き 友なるイエスは
罪 咎 憂いを 取り去り給う
心の嘆きを包まず述べて
などかは降ろさぬ 負える重荷を

「慈しみ深き」は、教会が岡村三丁目
の時、婦人会（聖研祈祷会）に初めて参
加し、今は主の御許にいる姉妹達と共に、
初めて讃美歌を体験する時が与えられま
した。聞き覚えのあるメロデーと、心に
染み入る歌詞に感動しました。（原曲は
コンヴァス作曲「エリー」で、歌詞はア

でも讃美歌の素晴らしさは、その歌詞に
あります。「主にのみ十字架を 負わせ
まつり われ知らず顔に あるべきかは」
（讃美歌331）は、モラビアン兄弟団を
創設したチンチェンドルフ伯が、「イエ
ス様の十字架刑」の絵の前で動けなくな
り、献身したことを想起させる讃美です。

讃美歌321番（新聖歌364）は私の
葬儀の時にも歌って欲しい讃美で、自分
の愛の足りなさを痛感させられ、生涯追
い求める心の歌です。「わが主イエスよ
ひたすら 祈り求む 愛をば、増させ給
え 主を愛する 愛をば 愛をば。いま
わの息 かすかに 残る時も 愛をば、
増させたまえ 主を愛する 愛をば」

イルランドのスクライヴェン。日本では
明治43年に文部省唱歌「星の界（よ）」
として紹介され、その後、川路柳虹の作
詞による「星の世界」として今日まで伝
えられています。

「輝く日を仰ぐとき 月星 眺むる時
雷鳴り渡る時 まことの御神を思う
わが魂 いざたたえよ大いなる御神を」
この曲に神様の愛に包まれているような
安らぎを感じます。歌うことは苦手です
が、歌詞を大切に、精一杯の声で主を
ほめたたえます。

今給黎 美代子

賛美歌は教会共同体の音楽であり、礼
拝には欠かすことのできない宝です。

神様の御招きに応えて、信仰を持って
歌う時「主を讃美するために民は創造さ
れた」（詩篇一〇二・19）この偉大な神
様の尊厳を称え、心から拝して讃美いた
します。又、賛美歌は迷える時代の座標
軸だと思えます。賛美歌集全編にあふれ
る詩人の歌詞と旋律は、心の底から確立
された信仰が現わされていますので、慰
めと希望、そして喜びと感謝を与えてい
ます。この素晴らしい賛美歌集から、新
聖歌325番「歌いつつ歩まん」は、私
の人生の歩みを照らす愛唱歌です。日ご
と信仰生活の力として、歌い継いで行き
たいと思えます。

主にすがるわれに悩みはなし
十字架の御許に荷を下ろせば
歌いつつ歩まん ハレルヤ ハレルヤ
歌いつつ歩まん この世の旅路を

「命のある限り、わた
しは主を讃美し、永らえ
る限り、わたしの神にほ
め歌をうたおう」
（詩編一四六・2）



三教会婦人交わり会に参加して

秋保 寛子

2018年2月10日の晴天の日、清水ヶ丘教会にて三教会婦人交わり会が開かれました。

私は朝から楽しみにしており、昨年の交わり会で讚美した、「歌いつつ歩まん」(新聖歌・325)を口遊みながら清水ヶ丘へ向かいました。

11時からの第1部では、聖書の学びとして中島牧師より、「伝道は楽しい」と題されたマタイによる福音書十三・31〜35のメッセージをいただきました。

「教会は婦人なくしては成し得ない。教会を良くするのも悪くするのも婦人にかかっている。マイナスの気持ちが悪くときは、「イエス様」と呼び掛けてみましょう。」という先生のメッセージに、心が新たにになりました。

交わりの時、隣に座られた他教会の姉は、信仰歴50年以上という大先輩でした。その大先輩が「私なんて信仰歴が長いだけで、何にもわかってなかったの。でも、最近やっと、『ああ、そういうことなのか』と理解できるようになった。このまま、御国につながっているのだなあと思

う。聖書は私のような者が簡単に理解できるものではない。わからなくていいと思う。神様が私を小さくしてください。」と仰っていました。大先輩を通じて、主から恵みをいただき、涙が出そうになりました。

「見よ、兄弟が共に座っている。なんという恵み、なんとという喜び」

(詩編一三三:1)

このような三教会交わり会の時を与えていただけましたことに深く感謝いたします。また、清水ヶ丘教会の皆様の暖かくきめ細やかな御働きに感謝いたします。どうかいつまでも、この恵みを味わうことができそうです。

三教会こども交流会

JCスタッフ 豊島 薫

『きみは愛されるために生まれた♡』と題された交流会が2月18日午後、清水ヶ丘教会(参加者子供10名スタッフ9名)菊名教会(子供2名スタッフ4名)とともに岡村教会からは子供4名と安藤牧師はじめスタッフ5名とが参加して行われました。

まず礼拝タイムにこの現代的な賛美を合唱、キッズ4人が壇上でゴスペルとダ

ンス、それに合わせて皆で軽く体を動かした後、「愛ってなんだ?!」のテーマで片平牧師によるメッセージを聴きました。探検オリエンテーリングでは4チームに分かれて敷地内40カ所の写真を渡され、探し回るゲーム。どこにあるかチームごとに会堂の内外をあちこち走り回り見つけるのは大変でした。「汝ら静まりて我の神たるを知れ」(詩編四六編10節)が会堂内に4カ所も掲げられていました。その後はケーキを食べながら答え合わせと歓談。昨年は岡村教会で行われて大盛況でした。今回も様々な仕掛けや工夫がなされて子供達もスタッフも楽しく交流することができました。三教会のJCがイエス様の御言葉を子供達に正しく伝えるために、「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい」(マタイ二二:37)の御言葉を改めて祈りたいと思います。



神様からの賜物

石川 新



せいら

娘の聖が生まれて、早9か月になりました。先日の検診では、健康そのものでした。家の中では、ミルクの準備や

離乳食、おむつ交換であつという間に一日が過ぎていきます。そのほとんどを妻に任せているので、本当に感謝です。慣れない子育てに奮闘する日々ですが、毎日見せる娘の笑顔や笑い声が聞けることが、なよりの楽しみです。

たくさん笑顔を見せてもらうために、いろんなことをするのですが、すぐに娘のブームが去ってしまうので、何をしたら笑うのか、日々研究しています。

目のことでたくさんの方々にお祈りいただきありがとうございます。私たちも心配していますが、聖の元氣そうな姿を見てみると、夫婦そろつても安心して気持ちになります。

今後、成長するにつれて、様々な困難が私たち夫婦や娘自信にあるかもしれません。しかし、これは神様が与えてくださった試練であり、賜物だと感じています。この賜物を生かして、神様に仕える子になるように、大切に育てていきたいと思ひます。

聖恵が生まれて

平野 耕太郎



初めてのクリスマス

私たちが夫婦と聖恵の為に
お祈りありがとうございます

す。昨年のクリスマスアドベントの最中に生まれた聖恵は「神さまからいただいた聖なる恵みⅡ最高のクリスマスプレゼント」という意味を込めて命名しました。皆さんのお祈りと神さまからの守りにより、智美のおなかの中にやってきてから、出産を経て今日に至るまで、親子共に健康な体も、育児も、日々の生活も、経済も全て守られて過ごしています。

さて出産後、私が自転車に乗ってクリスマスモードの調布の街を走っていると駅前広場ですぐ近くの教会の方々がちようどクリスマスキャロルを賛美していました。でも、私の耳に入ってくるお馴染みの讃美歌のメロディは、失礼ながらイエスさまではなく、聖恵の誕生をお祝ひしているように聞こえてなりませんでした。しかしながら、マリアやヨセフ、羊飼いや三人の博士が、ひとりの小さな赤ちゃんの誕生をどれだけ喜んだのかを実感した、貴重なクリスマスになりました。

小さな命をありがとう

鴫田 幸枝



かずき
一樹です

私は今年で38歳になりました。結婚して3年、高齢ということもあり、早く赤ちゃんをという思いでいましたが、なかなか授からず、祈ってきました。周りの友達がどんどん出産していく中、焦る気持ちと友達に対する妬ましい気持ち：何故こんな醜い気持ちを抱いてしまうのか：悪魔に勝つ強い清い心を与えてくださいという祈りに、神様は赤ちゃんを授けることで応えてくださったように思います。仕事をしながらの妊娠生活も守られ、昨年10月29日に元気な男の子を出産することができました。妊娠が分かった当初からエコーで見てきた小さな小さな命が、こうして立派な人の形となるなんて不思議：と言うか、神様のなす業は本当にすごいなと思ひました。出産して3ヶ月、初めてのことばかりで大変な日々ではありませんが、守られ楽しく過ごすことができているので、ありがとうございます。これからも祈り、神様と一緒に歩んでいきたいと思ひます。

3～5月 行事予定

3月

- 2日 世界祈祷日 (横浜指路教会)
- 4日 J C スタッフ・役員任職式
- 4日 新旧合同役員会
- 11日 J C 表彰式
- 15日 三教会統一祈祷課題祈祷会
- 25日 安藤師夫妻送別愛餐会
- 30日 主の受難日

4月

- 1日 主の復活日 (イースター礼拝)
- 1日 杉本師一家歓迎愛餐会
- 8日 新旧合同役員会
- 8日 J C 進級日

5月

- 3日 関東こころの友伝道講習会
於：新宿西教会
- 8日 三教会交流委員会 (横浜菊名教会)
- 10日 主の昇天日
- 13日 J C 母の日礼拝
- 20日 ペンテコステ礼拝
- 27日 教会定期総会

(毎月第1主日 聖餐式、役員会)
(毎月第4主日 各会の定例会)



J C の窓
(ジュニアチャーチ)

教会出席カード

安藤 善枝

2月にはミッシヨンスクールの子供達が、1年間の出席カードを持ってきます。学校では礼拝に多く出席した子を表彰しています。

横浜岡村教会の表彰式は3月第2週にあります。1年間に一回も休まない子もいます。2年生のKちゃんがそうですが、休まないと決めたら、それを家族がみんな協力しているようです。夏休みの旅行も土曜日には帰ってくるのだそうです。

台風でも、雪が降っても、大みそかでも休みません。すごいなあと思います。教会での金賞のプレゼントは安藤脩牧師の手作りアップルパイです。それが楽しみなのかもしれません。決心してもそれを続ける事はなかなか簡単な事ではありません。あなたも良い決心をして新しい世界に挑戦しましょう！



集会案内



◆イースター礼拝

4月1日 (日) 10時半～

午後は杉本牧師ご一家の歓迎愛餐会
杉本ご一家は5人家族でお子様2人を伴って来ます。

◆ペンテコステ礼拝

5月20日 (日) 10時半～

編集後記

今回をもって、私の岡村の泉の編集作業が終わりとなります。私は初めから関わっていたので感無量です。25年間ありがとうございました。

沢山の方々のお証しに力を頂きました。慣れないパソコンを一生懸命覚えた頃が懐かしいです。未だに慣れないですが、でも楽しい編集作業でした。心から感謝致します。

安藤善枝